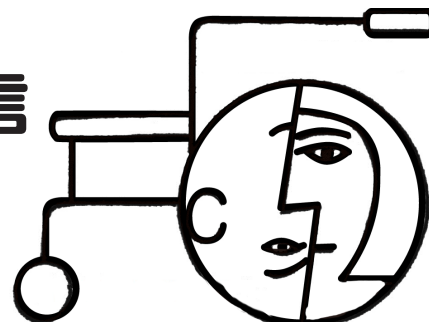


2021年12月23日 NO.127号 障害児・者サークル通信

発行：性教協★障害児・者サークル事務局
〒591-8046 大阪府堺市北区東三国ヶ丘町5-2-10 千住方
E-mail seikyokyo_kansai@yahoo.co.jp
HP <http://shogaiji.seikyokyo.org/>



●来年度からのサークル体制について	1
●特集：「障害と生きる」青年たちの今から	3
●障害児・者性教育セミナー in ふくい	7
●「親ばなれ-子ばなれ」その3「自律（オートノミー）」と 「自立（インデペンデンス）」との関係を中心に（II）	8
●お知らせコーナー	10

来年度からのサークル体制について

サークル代表 伊藤修毅

この障害児・者サークルが性教協の51番目のサークルとして誕生したのは、1996年です。四半世紀を超えて、このような活動が継続できていることは、本当にすごいことで、これまでサークルを支えてくださった皆さんには感謝でいっぱいです。一方で、この先も、このサークルを継続していくためには、定期的に活動の在り方を見直していくことが欠かせません。2013年に、代表を引き継ぎ、それから8年の間に、会員数は200名を突破し、かなりの大サークルとなりましたが、一方で、大きな組織に見合った運営体制を構築できずにここまでできておりました。

そこで、今年度の総会では、「2022年度以降のサークル体制（事務局・編集・広報等）の在り方を検討する」ということを決議し、この間、世話人会内にワーキンググループを立ち上げ、検討を重ねてきました。まだまだ詳細の検討は必要ですが、現段階で、以下の2点を進めていきたいと考えています。正式には、来年2月13日の総会で決定することではありませんが、スムーズに新体制に移行できるように準備を始めています。会員の皆様におかれましても、ご理解をいただきますと同時に、総会までの期間に積極的なご意見をいただければ幸いです。

1 会員管理クラウドサービス MiiT + 〈ミータス〉の導入

今まで、本サークルでは、会員名簿や会費入金金の管理を、すべて個人のPC上で行ってまいりました。この間、個人情報の管理についての意識も高まり、従来許容されていた水準のデータ管理では、これから新しい会員を迎えるにあたって困難が予想されます。また、会員数の増加に伴う、事務処理の増大も深刻な課題となっています。こういった点を改善するために、このミータスというシステム（詳細は、<https://miitus.jp/> をご覧ください）を導入し、事務局業務の効率化と安全化を図りたいと考えています。

このシステムは、すでに性教協さきたまサークルなどで導入されているようで、本サークルのような団体では、非常に便利にかつ安全に活用できるものと聞いています。このシステムを導入すると、まずは会員の個人情報が、個人のPCに保存されることがなくなります。そして、会費徴収も、このシステムを通しての徴収となりますので、名簿管理と入金管理が一元化されます。また、決済手段が増えますので、会員の皆さんの会費入金の手続きも、それぞれのや